

指定管理導入施設実績評価シート（平成25年度）

	施設所管課	市民部 文化・青少年課
施設名	スカイプラザ浜大津	
指定管理者	株式会社ビー・ビー・シー・サービス	
指定期間	平成22年 4月 1日 ～ 平成27年 3月 31日	
指定管理料	年額 27,253,000円	（総額 135,842,000円）
設置目的	音楽、演劇、その他の市民文化に係わる創作、練習、発表、鑑賞及び交流を通し、市民文化の振興を図ること。市民文化活動を推進し、新しい大津の文化の創造を支援する。	
業務内容	スタジオ、練習室などの施設と附帯設備の利用許可などに関する業務。料金の授受に関する業務。利用促進に関する業務等。利用者が快適に施設を利用できるよう適切な管理運営を行なう。利用者への助言、地域との文化連携。	

主な成果 <small>（自主事業含む）</small>	使用料収入	目標	10,540,000 円	⇒	実績	10,544,700 円 <small>（自主事業収入含む。24年度実績 10,507,686円）</small>
	稼働率	目標	78 %	⇒	実績	79.7 % <small>（24年度は75.6%）</small>
	利用者数	目標	78,500 人	⇒	実績	78,068 人 <small>（貸館の7階は前年度比+1,110人）</small>
	カルチャー教室の受講生増加に加え、当館の認知度も上がって、7階のスタジオ、練習室の利用者が前年度より1,110人も増加し過去最高となりました。また稼働率も前年度より4.2%も向上、23年度を0.1%ながら上回り過去最高となりました。 自主事業では、ニューヨーク在住のジャズ界の大物、ルー・タバキンさんのコンサート開催を実現させたり、プロジェクター使用など新たな取り組みを実施。					

総合評価	I～IVによる総合評価	総合評価コメント
	B	全体に辛口評価した。駐車料金サービス負担分が81万円増加するなど、努力の範疇を超える要素から前年度より収支が悪くなった。経費削減に努力したが、結果からBとした。取組み姿勢・利用状況はAの優良だと思ふ。

	評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	所管課評価
I 実施体制	施設の設置目的の達成 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努めていたか。	事業計画書、事業報告書	B	B
	職員の勤務実績・配置状況・労働条件 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 必要な資格、経験を有する職員を確保していたか。 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 障害者の雇用促進に努めていたか。	事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査	B	B
	職員の研修 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	事業計画書、事業報告書、研修資料等	B	B
	法令等遵守 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係書類等、実地調査	B	B
	個人情報保護・情報公開 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	協定書、管理方法（実地調査）	B	B
	管理記録 業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B	B
	連絡体制 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。	事業計画書、事業報告書等関係書類	A	A
	緊急時対応 事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B	B
《I 総括》 業務の実施体制に関する評価【標準8項目／当施設8項目】			B	B

指定管理導入施設実績評価シート（平成25年度）

評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	所管課評価	
Ⅱ 内容・水準	施設管理 開館日、開館時間を遵守していたか。 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	事業計画書、日報	A	A
	利用状況 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、事業報告書	A	A
	利用者対応 利用許可や案内等、職員の対応は迅速かつ適切に行っていたか。 服装、言葉遣い、接客態度等の接遇は適切であったか。 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	A	B
	事業運営 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 自主事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。	事業計画書、事業報告書、自主事業計画書、実地調査	A	A
	維持管理 施設、設備の保守管理(点検・修繕)を計画的に実施したか。 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 植栽、樹木等の維持管理を定期的に行い、美観が保たれていたか。	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	B	B
	情報提供 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 ホームページの管理は適切に行っていたか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B	B
	環境配慮 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B	B
	意見・要望・苦情 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B	B
	利用者アンケート 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。	事業計画書、アンケート、実地調査	B	B
《Ⅱ総括》 業務の内容・水準に関する評価【標準9項目／当施設9項目】			B	B
Ⅲ 収支等	経理事務 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っていたか。 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行していたか。 料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか。	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査(金庫等)	A	A
	収支状況 予算と決算に大幅な相違がなく、収入－支出はプラスとなっているか。 収支状況が対前年度比及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、事業報告書	B	B
	経費節減の取組 経費削減に向けた取り組みを積極的に実施し、その効果が上がったか。 清掃、警備、保守点検、修繕等の再委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業計画書、委託契約書、実地調査	B	B
《Ⅲ総括》 経費の収支等に関する評価【標準3項目／当施設3項目】			B	B
Ⅳ その他	【その他】 文化活動の推進と浜大津地域の活性化・観光振興を目的に2011年から開催している「アロハフラ inびわ湖」の事務局を預かっていますが、25年度は大津港シンボル緑地で開催。参加者は、京都、大阪、奈良滋賀の35団体、949人。着実に発展しており、フラダンスと地域活性化のため当館も大いに貢献しています。		A	A
	《Ⅳ総括》 その他に関する評価【当施設 項目】			A

特記事項等 (課題・成果)	【指定管理者】	練習と発表に利用される7階の入場者数と稼働率が過去最高となりました。 また、稼働回数も23年度を142回上回り過去最高となりました。 当館が市民にさらに必要な施設になっていることを表しています。 課題は、利用者の駐車料金サービス負担が前年度より81万円も増加、収支悪化の原因となっています。
	【施設所管課】	老朽化による施設改修等を計画的に進めるとともに、音楽・演劇活動を中心とした文化活動の拠点として、更なる自主事業の活性化を図り、一層の利用率向上と積極的な施設の活用に努める。

※評価基準：項目別評価、《総括》、総合評価の評価基準(A～D)は、モニタリングチェックシートと同様とする。

